○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

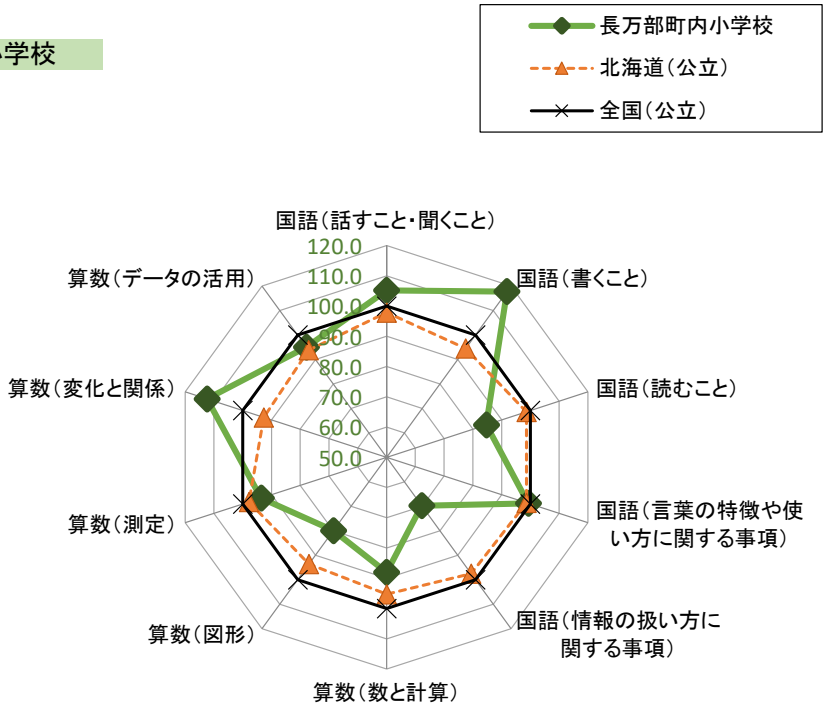
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

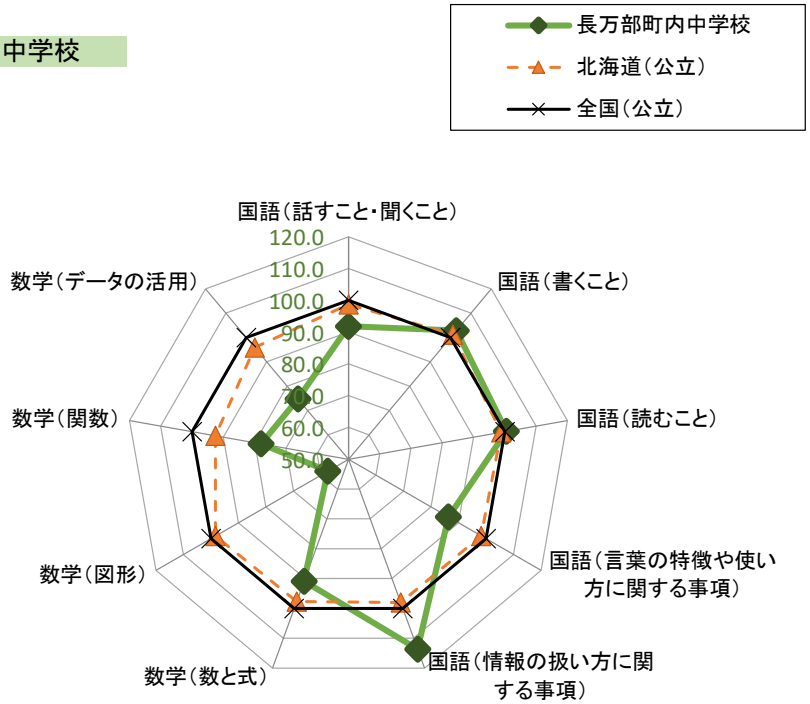
※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
長万部町	58.9	50.2	61.1	44.3	448
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



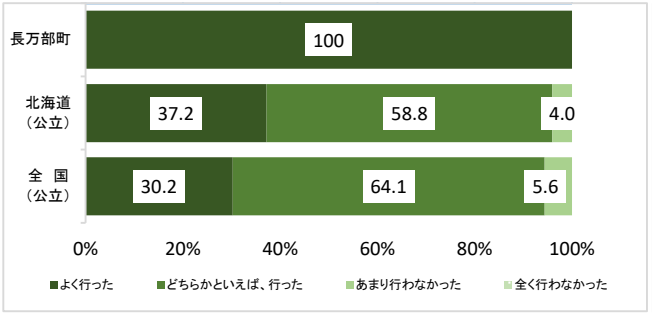
中学校



○ 質問調査の状況

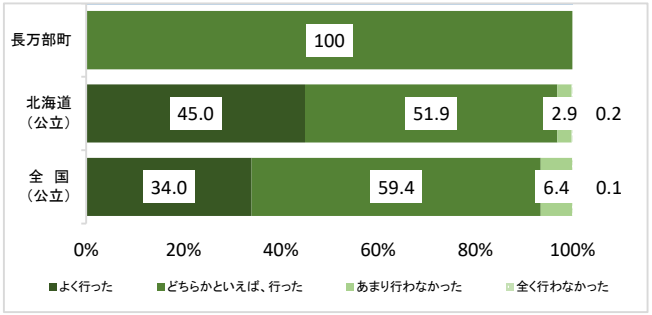
小学校
＜学校質問＞

前年度までに、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか



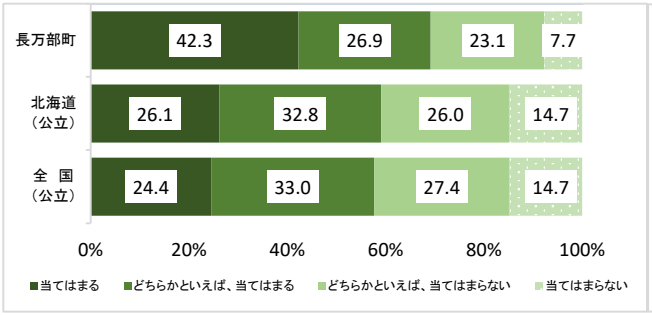
中学校
＜学校質問＞

前年度までに、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるような指導を行いましたか



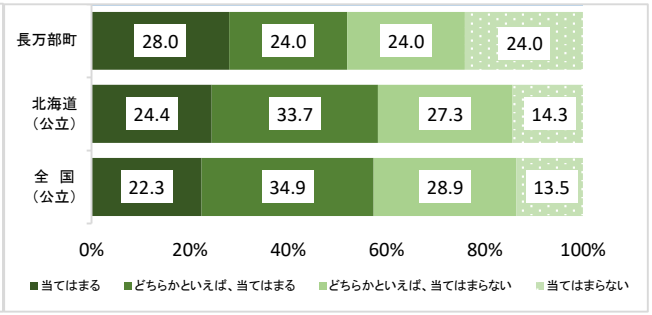
小学校
＜児童質問＞

国語の勉強は好きですか



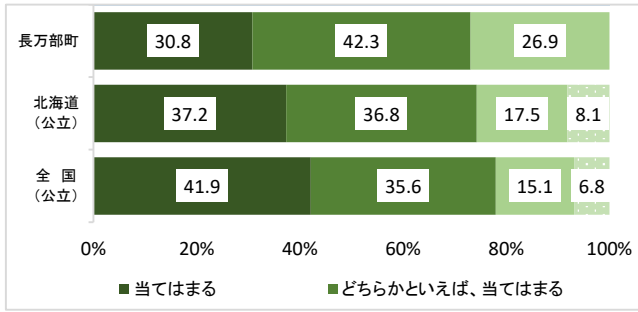
中学校
＜生徒質問＞

国語の勉強は好きですか



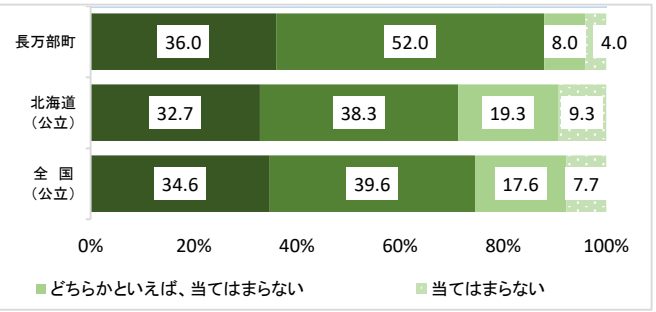
小学校
＜児童質問＞

算数の授業の内容はよく分かりますか



中学校

数学の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行ったことにより、国語の勉強が好きと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- 中学校において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるような指導を行ったことにより、国語の勉強が好きと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- 国語に関する調査結果では、小学校及び中学校とも、全国及び全道を下回ったことから、町としての課題であると考える。特に小学校における「読むこと」領域は、全国及び全道を下回っており、基礎・基本の確実な定着が必要である。
- 算数・数学に関する調査結果では、小学校及び中学校とも、全国及び全道を下回っていることから、町としての課題であると考える。特に「図形」領域は、小学校及び中学校において、全国及び全道を下回っており、基礎・基本の確実な定着が必要である。

○ 今後の改善方策

- 小学校、中学校ともに算数・数学が苦手な児童生徒が多いことから、デジタルドリルを活用し、基礎・基本の定着を図るとともに、家庭学習の充実など学力向上を進めていくことが必要である。

- 中学校の数学において、数学の授業の内容はよく分かると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回った一方で、小学校において、算数の授業の内容がよく分かると回答した児童の割合が全国及び全道を下回ったことから、小学校における算数専科教員の効果的な活用が必要である。